

# 町内のオビシャ紹介

過去に取材をした各地区のオビシャをご紹介します。

## 白柵区男オビシャ(平成27年撮影)



両親共に健在の人が行事となり、東西に分かれ酒相撲をします（現在は行っていません）。

## 新井田区女オビシャ(平成27年撮影)



「豊年だー、満作だー」と掛け声を掛けハネコ(ポップコーン)をまきます。

## 殿部田区男オビシャ(平成28年撮影)



酒相撲の際、下戸の人は側に置いてある豆腐と海草をつまみにします。

## 加茂区女オビシャ(平成28年撮影)



出産が近い人や子どもを授かりたい人が安産や子孫繁栄を祈る「オツイダチ」を行います。



①並々と注がれた酒を一気に飲み干す②男オビシャの飾りつけも昔から決まったもの③酒を飲んだ後口を拭くと、皆の顔から笑顔がこぼれます

年だー、満作だー」と言いながらお菓子をまきます。それが終わると「天杯の儀」に移り、桐紋入りの杯で酒を飲みます。最後に終宴の合図としてお茶を出し、男オビシャは終了となります。

このように、男オビシャは五穀豊穡を祈るとともに、同じ地区に住む者同士が共に酒を飲み、連帯を強くする行事といえます。生駒敏憲区長は「オビシャは地域で年代の異なる人々が交流できる行事です。昔から伝わっているしきたりはさまざまに改良していますが、オビシャそのものは未来に残していきたいですね」と思いを語ってくれました。

## 芝山古墳・はにわ博物館企画展 空港南部工業団地の遺跡展

会期 ～6月3日(日)

入館料 大人 200円 子ども(小中学生) 100円

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜日および祝日の翌日  
(月曜日が祝日の場合はその翌日)

内容 縄文時代や古墳時代の土器、中・近世の陶磁器などを展示しています。

# 芝山の祭り

## その八・ 牧野東区男オビシヤ



芝山町では1月から2月にかけて、各地区でオビシヤが行われます。今回の芝山の祭りは、牧野東区の男オビシヤをご紹介します。

### 新春の神事「オビシヤ」

オビシヤとは弓的を射てその年の豊作を占う神事で、主に関東地方で行われています。中でも千葉県は特に盛んな地域で、内容も多種多様で的を射る神事が伴わないものもあります。芝山町内では現在弓的を射るオビシヤは行われていませんが、各地区で特色あるオビシヤが続けられています。

### 牧野東区のオビシヤ

平成30年の牧野東区男オビシヤは1月14日に行われました。神職を招いての神事後、直会となりますが、直会は全て座配の進行で進められます。

まず酒注ぎを2名指名します。これは両親共に健在な者がなります。そして最初に行われるのは「三魂の儀」で、三段重ねの杯を上座から順に飲んでいきます。3つの杯があるため、1人3回酒を飲みます。

### 酒相撲

三魂の儀が終わってしばらくす

ると「おずいだ」が始まります。これは参加者が東西に分かれて行う酒相撲のこと。東西から酒相撲を取る人が席に座ると、酒注ぎが杯に酒を注ぎます。酒の量は行司が厳しくチェックし、目いっぱい注がれます。杯の下には半紙が敷いてあり、もし酒がこぼれて半紙が濡れたら、酒注ぎが飲まなければいけない決まりです。

酒相撲を取る人は、並々と酒が入った杯に口をつけ、一息に飲み干します。しかし飲み干した後、口の周りを拭いてしまうと、もう一杯飲まなければいけません。そのため皆で「口に付いているぞ」などと言って口を拭かせようと盛り上がりります。

### 地域の和を育む

酒相撲が終わると「当渡しの儀」を行い、来年の当番の襟元に神様の掛軸を入れ当番の引き継ぎをします。その後「豊年満作の儀」を行います。座卓の四隅に杯、中央にお菓子が入ったざるを置きます。酒注ぎ2人と今年の当番、来年の当番が座卓を持ち、区長が「豊